

# 教育と文化

市は、平成28年4月に『伊万里市男女協働参画を推進する条例』を施行しました。この条例により男女協働社会を実現し、誰もが自分らしく生き生きと暮らせる社会を目指します。

### 家庭では

家族を大切に、家事・子育て・介護などを家族で協力する

### 職場では

男女がともに仕事と家庭の両立ができる職場を作る

## 男女共働参画社会

### 学校では

一人一人の個性や能力を伸ばし、社会で活躍できる人材を育てる

### 地域では

男女がともに地域の活動に関わり、より良い地域づくりを進める



誰もが自分らしく生き生きと暮らせる

国は、平成11年6月に施行された『男女共同参画社会基本法』の理解と関心を深めるため、毎年6月23日から29日までを『男女共同参画週間』と定めています。  
今年度の男女共同参画週間キャッチフレーズは、『男で○、女で○、共同作業で◎。』です。これは、女性も男性も、自らの意思により個性と能力を発揮して活躍できる職場を作るためのキャッチフレーズとして公募で選ばれました。

『女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）』の施行から1年が経過し、大企業や国・地方公共団体での事業主行動計画の策定率は、ほぼ100％になるなど、女性の活躍推進に向けた取り組みは大きく前進しています。  
男性、女性にかかわらず、自らの意思により、その個性と能力を十分に発揮して働くことができる職場づくりが求められています。



6月23日（金）～29日（木）は

『男女共同参画週間』です

男で○、女で○、共同作業で◎

● 問合先 男女協働推進課

男女協働推進係 ☎232115

## 郷土の文化財

日本遺産シリーズ③

● 問合先 生涯学習課文化財 ☎3186

### 肥前陶磁器の積出港

日本遺産の歴史ストーリーに関わる伊万里の文化財について説明します。  
有田で始まった磁器生産の技術は肥前各地に広がり、それぞれ独自の製品が作り出されました。こうした肥前磁器の製品は、主に伊万里（津）から積み出されて国内各地に流通し、さらに長崎の出島を経由して東南アジアやヨーロッパなどにも輸出されました。

また、文化11年（1814年）には海上安全守護のため、筑前の商人関係者から石灯籠が、紀州の商人から手水鉢が相生橋のたもとにあつた戸渡嶋神社に寄進されています。これは、焼き物の流通に全国各地の商人が深く関わっていたことを示しています。現在、戸渡嶋神社は伊万里神社に合祀され、石灯籠・手水鉢は伊万里神社にあります。

この時期の歴史ストーリーを構成する文化財として、市指定有形文化財の旧犬塚家住宅があります。文政8年（1825年）に建てられた白壁土蔵造のやきもの商家です。焼き物の積出港として栄えた伊万里津は千軒在所といわれるほど数多くの商家が建ち並んでいました。現在、この建物は『伊



↑ 旧戸渡嶋神社（現伊万里神社）の石灯籠